

さくら



令和5年5月1日(月)

お気に入りの一冊に巡り会おう



自宅の最寄り駅近くに公立図書館があり、休日に出かけることがあります。目的の多くは、百科事典や専門書を使っての調べ物です。このような時は、はっきりした目的があります。しかし、めあての本がないままに図書館へ出かけることもあります。図書館内のさまざまなジャンルの本棚を巡りながら、タイトルが私の直感を刺激したものを手に取ってみるのです。

表紙を開き、まず目次に目を通してみるのが私の本選びのスタイル。そんなことを繰り返し、膨大な本の中を巡りつつ、あつという間に時間は過ぎていきます。図書館は知識と興味的大海。図書館独特のにおいと雰囲気が五感を揺さぶります。

以前に読んだ本で、西田幾多郎（にしだ きたろう・哲学者）の次の言葉を見つけました。

「一事を考え終わらざれば他事に移らず。一書を読了せざれば他書をとらず」

一つ考えがまとまらないうちに、他の事を考えてはいけない。一冊の本を読み終えないうちに、他の本を手にとってはいけないということです。

「一書を……」の部分だけを取り上げます。本を読む時は、しっかり最後まで読み、その本を通して著者の考えに触れ、吸収すべきところはしっかりと吸収することが大切です。また、この考えは自分の考えとは違うのではないかという批判的な読み方も重要です。このような思考の過程により、読書を通じての人の成長が期待できるのです。

堅い話はさて置き、本校の図書館にも多くの本があります。とても使いやすく整備され、皆さんにとって、お気に入りの一冊に巡り会うことができるかもしれません。学校の隣には中央図書館もあります。学校の図書館や中央図書館で、ゴールデンウィーク中に読む本を探してみませんか。

〈保護者の皆様へ〉

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

